

テーマ	主体	何ができるか、何ができそうか	現状・課題	提案
1-① 農業の担い手と農地利用	私	遊びとしての農業		要素を取り入れ、生活の楽しみの中から食について学ぶ 仕事のストレス発散 誰でも始められる みんなで集まる場 観光果樹園。作業を遊びにする。農園に流れる時間を売る！（作物がない時でも人が来る） 仕事の一部が作物 手入れされた農園＝貴族のステータス みんな主役になりたい 気軽に農業に関わることが出来ること！→現状ハードル高い プロも初心者も気軽に 遊休農地をなくすチャンス 農家…例えば若い人に手伝ってもらう→手伝う面白さ、生きがいづくり 非農家…ちょっと手伝う 兼業農家…ちょっと放っておいても良い。 雰囲気づくり 場所づくり ex草刈りなど
	私	場を楽しむ		
	私	農家をやりたいと思うこと		
1-② 環境にやさしい暮らしづくり	地域	太陽光パネル		景観×。環境今のところ○ 町でも総量を決めるなど 良い面が出る工夫。（場所を選ぶ、農地を守る、景観自然を守る） 産地の差別化としてインター降りて果樹園が広がる景色 果樹園がかっこいい。なくす意味がないような取り組みを行う 町場も同じこと。空き家など。活用の提案、アイデアを発信する、話し合う 例えば景観などの価値基準を自分たちで共有する取り組み。 良さを日常の中で積極的にPRする 部奈での取り組みもGOOD！
	私	景観		
	私	松川の宝は何かを考える		
1-③ 住民が主役のまちづくり	私	自分たちが出来ることで応援する。立ち上がる		勝手に応援隊のような仕組み 勝手に応援。気を遣わなくて良い凄さ→両方が主役になっている 交流の中でアイデアが生まれて、交流の中で実践されていく 見守り隊も同じ 自分達ができること、やりたいことで勝手に気軽に始める 周りは否定しないこと 行政は応援 行政に委任しないが大切！ 行政を上手に使う 行政として応援する仕組みがある
	私	(核)小さなグループが始めるちょっとしたお節介		
	地域	古町を愛する会		
2-① 暮らす場所・働く場所づくり	地域	移住者とのコミュニケーションをとる	部奈の風景が魅力で来る人がいる 部奈の生活スタイルを知ってもらう	隣組・自治会。地域のつながり参加していただきたい 移住者にも積極的に参加していただく だんだん慣れてもらうことが大切 障がい者就労支援 住み込みの人が地域に定住してもらいたい
	私 私	ありがとうって声掛けをしている 住み込み仕事(地域外)を受け入れている	外国の方を受け入れる(課題が多い) コミュニケーション大変 地元働き手がいない	
2-② 商店街の活性化	私と地域団体	商店街活性化に取り組む	祇園の日だけ商店街賑わう 魅力のある情報商品がほしい	まーくんカードの定着 商店街の販促行動もやっている 利便性 モノ・情報量の多さ選ぶ これからはキャッシュレス対応 クレジットカードを使える状況つくる お店を紹介する イベントが必要 松川に戻って商売してくれば…続けられる仕組みづくりが難しかった
	私 私 子ども	地元のおじいちゃんと商店街をつなぐ 子ども達を商店街に連れていく チャレンジショップ	商店街はあることが当たり前だが、なかなか行かなくなっている	
2-③ 町のファンを増やす	私	色々なツールを使って情報発信	フェイスブック その良さもある	発信したい人が自分から発信してほしい 発信が得意な人が情報を発信する ツイッター、インスタ、ロコミ フェイスブックだけではなくインスタも！！ 知りたいなら写真がほしい ＃(ハッシュタグ) シードル、松川町 写真コンテストは部奈を知ってもらう効果あった 遠くの人にも応募してくれた！ 写真で地域を再発見する 40代→フェイスブック 20代→ツイッター、インスタ ツイッターからHP見る
	地域	＃(ハッシュタグ)を上手に使う 写真コンテストもやればいいのに…		
	発信者	情報を常に更新する		

テーマ	主体	何ができるか、何ができそうか	現状・課題	提案
3-① 災害に強い地域づくり	行政・地域 行政・地域・個人	防災全般 地域ごとでの現状把握と対策 防災全般 住民が判断できる情報の伝達・把握	地域によって人口や加入数などが違う いつ、どう避難するか。どこに逃げるか。避難所までの距離などを把握 人⇄施設(施設の課題とは別) ⇄同じ世代でも情報を知らない人→共有する 人が増えるわけではない 体の不自由な人や一人暮らしの人	区・組へ入っていない人の扱いは地域ごとで考える 各自が判断できるよう、情報を与えること(冊子等でも)。自分できちんと判断すること 人の問題でもある。「こうなったら、こうする」→想定。まずは家族から 活動で知る情報はある(→やっぱり消防団！) 他のしっかりとした組織(日赤奉仕団など)を目指したい 安否確認…声のかけられる範囲で(そのくらいが限度)
	行政・地域 地域・個人	防災組織 消防団活動による地域の情報取得 防災組織 既存の他組織を参考にした消防団の見直し 防災組織 自主防災組織の見直し(各自ができる)	入っていないと壁を感じる 共有する時間をどう確保するか お年寄りを見習う→どう時間をつくる？ 定住した人の年齢増 年配者への声掛け 親としては子供に声をかけてほしい(知ってればいいけれど…)	地域に入る(→同居して地域のつながりが強いと感じる) 各世代、世代間で行動し共有する時間をつくる(→情報・きずな) できることから(→畑と一緒にやる。その後の懇親会(「山保育」保育園廃園がきっかけ)) 自分の体は自分でケア(→健康促進の会:勉強会) 知り合いを仕事中でも見かけたら話す 自分が子どもと歩いている時は積極的に地域の人に話かけている
3-② 支え手・受け手の役割を担う地域づくり	地域・個人	自治会(区等)への参加 各世代・世代間での活動	入っていないと壁を感じる 共有する時間をどう確保するか お年寄りを見習う→どう時間をつくる？ 定住した人の年齢増 年配者への声掛け 親としては子供に声をかけてほしい(知ってればいいけれど…)	地域に入る(→同居して地域のつながりが強いと感じる) 各世代、世代間で行動し共有する時間をつくる(→情報・きずな) できることから(→畑と一緒にやる。その後の懇親会(「山保育」保育園廃園がきっかけ)) 自分の体は自分でケア(→健康促進の会:勉強会) 知り合いを仕事中でも見かけたら話す 自分が子どもと歩いている時は積極的に地域の人に話かけている
	個人	地域活動による健康の維持 地域での声掛け	入っていないと壁を感じる 共有する時間をどう確保するか お年寄りを見習う→どう時間をつくる？ 定住した人の年齢増 年配者への声掛け 親としては子供に声をかけてほしい(知ってればいいけれど…)	地域に入る(→同居して地域のつながりが強いと感じる) 各世代、世代間で行動し共有する時間をつくる(→情報・きずな) できることから(→畑と一緒にやる。その後の懇親会(「山保育」保育園廃園がきっかけ)) 自分の体は自分でケア(→健康促進の会:勉強会) 知り合いを仕事中でも見かけたら話す 自分が子どもと歩いている時は積極的に地域の人に話かけている
	個人	自ら行うコミュニティづくり (自ら地域の将来について考え、行動・参加する)	農家の奥さん達とコミュニティづくりしたい！	農業の女子の会の立ち上げと取組 自分がやりたいことを周りに言っていく 負担とならないよう会長などは決めない 会員30人。10人くらいはいつも出てる 年間計画→その時に得意な人がリーダー 月に1回(花植え、お茶会) 年配の人から教えてもらう時もある 自分の地域をどうしていくか自分で考えて動く 気楽な感じでやるのが大切(続いていく) 自分が入ることで人のつながりになっていく 元役員が退いた後も積極的に行事等に参加 できれば自然な形で 具体的にやること教えて！→参加できるかも！ やり方を変える
3-③ 支え合うコミュニティづくり	個人	自ら行うコミュニティづくり (自ら地域の将来について考え、行動・参加する)	農家の奥さん達とコミュニティづくりしたい！	農業の女子の会の立ち上げと取組 自分がやりたいことを周りに言っていく 負担とならないよう会長などは決めない 会員30人。10人くらいはいつも出てる 年間計画→その時に得意な人がリーダー 月に1回(花植え、お茶会) 年配の人から教えてもらう時もある 自分の地域をどうしていくか自分で考えて動く 気楽な感じでやるのが大切(続いていく) 自分が入ることで人のつながりになっていく 元役員が退いた後も積極的に行事等に参加 できれば自然な形で 具体的にやること教えて！→参加できるかも！ やり方を変える
	地域・個人	地域を担う団体を核にした交流 (自ら地域の将来について考え、行動・参加する)	若い人をどう引っ張り出すかが大事 旧東小でバト等を毎週。4月から公民館でも行っている (飯田で始めた)サッカーチーム→松川の子どものコーチ依頼+フットサル同好会 役員→お任せ→負担に感じる	農業の女子の会の立ち上げと取組 自分がやりたいことを周りに言っていく 負担とならないよう会長などは決めない 会員30人。10人くらいはいつも出てる 年間計画→その時に得意な人がリーダー 月に1回(花植え、お茶会) 年配の人から教えてもらう時もある 自分の地域をどうしていくか自分で考えて動く 気楽な感じでやるのが大切(続いていく) 自分が入ることで人のつながりになっていく 元役員が退いた後も積極的に行事等に参加 できれば自然な形で 具体的にやること教えて！→参加できるかも！ やり方を変える
	地域・個人	地域における役員への協力体制の仕組み化	役員→お任せ→負担に感じる	農業の女子の会の立ち上げと取組 自分がやりたいことを周りに言っていく 負担とならないよう会長などは決めない 会員30人。10人くらいはいつも出てる 年間計画→その時に得意な人がリーダー 月に1回(花植え、お茶会) 年配の人から教えてもらう時もある 自分の地域をどうしていくか自分で考えて動く 気楽な感じでやるのが大切(続いていく) 自分が入ることで人のつながりになっていく 元役員が退いた後も積極的に行事等に参加 できれば自然な形で 具体的にやること教えて！→参加できるかも！ やり方を変える
4-① 安心して子育てをする	町	安心して子どもを預けられる場所	保育園ではずっと待機児童を出していない	アピールして町外からの人を呼べないか 土地が高い(子育て世代が家を建てるのに町外に出してしまう) より身近に気楽に相談できる場所がない 子どもが集まってもゲームしているだけ 子ども同士のコミュニケーションが心配
	私	近所で子どもや子育て中の親が集まる機会をつくる	子育て支援センター「おひさま」がある 地区の公園や公民館で子育てを支援する場、機会をはじめた	アピールして町外からの人を呼べないか 土地が高い(子育て世代が家を建てるのに町外に出してしまう) より身近に気楽に相談できる場所がない 子どもが集まってもゲームしているだけ 子ども同士のコミュニケーションが心配
	私、地域	商店街で子どもを預かる場所をつくる	他地域では空き店舗を使って学習塾をしている例がある 商店街でどんなことができるか研究している 「子ども食堂 Hag」で食事提供、居場所づくり 地域の人が食材を提供してくれる(子ども達のために何かしたい) 見守り隊	アピールして町外からの人を呼べないか 土地が高い(子育て世代が家を建てるのに町外に出してしまう) より身近に気楽に相談できる場所がない 子どもが集まってもゲームしているだけ 子ども同士のコミュニケーションが心配
4-② 魅力的な教育と人づくり	私、地域	自分の自治会にいる子どもたちを覚える	見守り隊	アピールして町外からの人を呼べないか 土地が高い(子育て世代が家を建てるのに町外に出してしまう) より身近に気楽に相談できる場所がない 子どもが集まってもゲームしているだけ 子ども同士のコミュニケーションが心配
	私、地域	自分の自治会にいる子どもたちを覚える	見守り隊	アピールして町外からの人を呼べないか 土地が高い(子育て世代が家を建てるのに町外に出してしまう) より身近に気楽に相談できる場所がない 子どもが集まってもゲームしているだけ 子ども同士のコミュニケーションが心配
	私、地域	自分の自治会にいる子どもたちを覚える	見守り隊	アピールして町外からの人を呼べないか 土地が高い(子育て世代が家を建てるのに町外に出してしまう) より身近に気楽に相談できる場所がない 子どもが集まってもゲームしているだけ 子ども同士のコミュニケーションが心配
4-③ 健康で暮らす	町	松川は保健・福祉が充実している	健康学習(みんなで考える)の成果 健診結果の個別指導 みんなで一緒に考える機会が増えるといい やること(仕事・役割)があると元気	今の若い人のほうが心配(車社会)
	私	健康について考える	健康学習(みんなで考える)の成果 健診結果の個別指導 みんなで一緒に考える機会が増えるといい やること(仕事・役割)があると元気	今の若い人のほうが心配(車社会)
	私	健康について考える	健康学習(みんなで考える)の成果 健診結果の個別指導 みんなで一緒に考える機会が増えるといい やること(仕事・役割)があると元気	今の若い人のほうが心配(車社会)